

南山中学校区 地域ぐるみ ふれあい会議 第6回報告

～ふだんの高齢者の見守り・支え合い～

平成 26 年 12 月 12 日（金）、第 6 回南山中学校区ふれあい会議を開催しました。今回は、計 17 名の方が参加してくださいました。また、地域づくりについて勉強をしている学生さんの見学・参加があり、前回に引き続き、盛んな話し合いとなりました。

1. 基本

(1) グループのテーマ

平成 26 年度のふれあい会議は、3 つのグループ別に、各テーマで取り組むことを検討しています。

- グループ A 認知症の症状がある人が地域でくらししていくために周りの人が支援できること**
- グループ B 事業者（民間・介護保険）と連携した高齢者生活支援のアイデア**
- グループ C 高齢者・独居者支援（ゴミ出しや買い物・見守りなどの支援）**

(2) 今年度中の目標

平成 27 年 2 月までに、次の①か②が実現することを目標として話し合っています。

① 何らかの取り組みアイデアが実現する

様々な取り組みのアイデアの中で、数ヶ月あれば実現可能・すぐに取り組む可能なものがあるかと思います。そんな取り組みについては、今年度中に実現を目指します。

② 取り組みのアイデアが完成する

アイデアの中には、重要だけれど実現まで時間がかかるものがあります。その場合、アイデアの実現に至らなくても、取り組みアイデアをまとめるところまでを目標とします。

大学生の I さんが群馬から参加してくださいました

群馬県高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科の 4 年生、I さんが、卒業論文作成にあたり、南山中学校ふれあい会議に関心を持ったということで、はるばる群馬から見学・参加にいらしてくださいました（片道 3 時間だったそうです！）。当日は、自己紹介と共に地域づくり学科で学んでいることを話していただき、その後 B グループの意見交換に参加。私たちも、良い刺激になりました。I さんからお礼のお手紙をいただいたので、一部をご紹介します。

< I さんからのお手紙（抜粋） >

ふれあい会議では、テーマごとに話し合いが行われており、具体的な内容まで発展し、非常に感銘を受けました。地区ごとの話し合いにより、住民の方が課題について考えやすい場であると感じました。生活環境を豊かにするためには地域での力が大切な役割であると改めて学ばせていただきました。（中略）ふれあい会議に参加された方々のご指導とご助力により、多くの成果を得ることができました。書中をもって御礼申し上げます。

なお、I さんの卒業論文に、ふれあい会議の写真を掲載したいとのこと。会議参加者の皆様、ご了解いただければと思います（不都合がある場合はお知らせください）。

「皆さんが活発に意見交換されていて、驚きました」との感想。大学でも、同じように地域の方とグループワークをしているそうです。白井にもそんな大学があったら心強いなあ、と思いました。



2. 12月の話し合い結果

A 認知症の症状がある人が地域でくらし いくために周りの人が支援できること

12月の会議で出た内容は以下のとおりです。



認知症カフェを作ろう！名称・日程を決定しました！

「グループホームに入所している認知症の方や地域に住む認知症の方も活躍でき、家族も地域の人たちも集える場で、認知症に理解をしましょう！」

名称：「ひだまり」～富士カフェ～

日程：平成27年3月28日(土)10:00～15:00

参加費：100円

あたたかさとおオレンジを象徴し、このカフェでゆったり、ほのほのしてもらい、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしてもらいたい…というイメージで名づけました。

名称については、グループの方それぞれいろいろな案を持ち寄ってくださり、いろいろな意見の中、全員一致でこの名称が決定したところです。今後、市内のいろいろなところでカフェを行うときには、この名称を使っていく予定です。また、今回は、具体的なカフェのスケジュールが決定しました。開催の詳細に関する話し合いの結果は次のとおりです。

次回までに、配布するチラシの案を愛の家スタッフの方が持参予定です。

★タイムスケジュール★

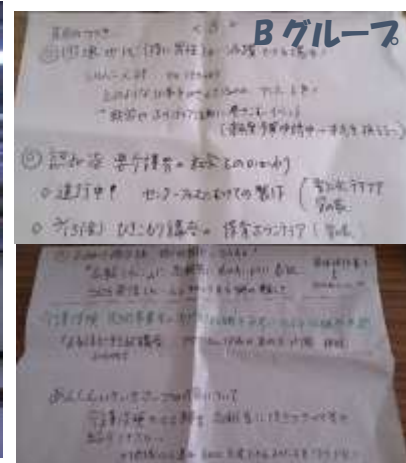
- 10:00 スタート
- 11:00 ギター演奏
- 13:30 催し物（未定又は入所者の方の一芸披露など）
- 15:00 終了

<随時>

- 骨密度測定会開催（健康課に依頼）
- 白井市ご当地体操「梨トレ体操」
- 個別相談（包括職員、ホーム職員が対応）
- 作ったお菓子の提供（有料）など・・・

担当/今井

★★12月の様子★★



B 事業者（民間・介護保険）と連携した高齢者生活支援のアイデア

B チームは今回、7人で検討。前回出た取り組みアイデアの中を発展させました。

認知症や要介護になっても、社会と関わり貢献できる場を！

認知症の方も出来ることが多い。ボランティアもしたい！

公民館まつりで夏祭り等の飾り付けづくり、年間の市の行事で簡単な手作業などを依頼する（元アイデア）

当日の意見

駅前センターの親子行事のときの**保育ボランティア**に、グループホームの利用者さんが参加する。
→ 2月13日に**保育ボランティア付のイベントを開催**。そこで実践してみることに。

3月の**駅前センターフェスティバル**で、Bグループに参加している**聖仁会デイケアやグループホーム愛の家利用者さん**の作品を掲示してみる。

利用者さんの、**公民館将棋教室への参加が実現！**

認知症になり、施設やグループホームに入っても、地域に参加する場、社会に貢献できる場を作る、という趣旨のもと、**公民館の将棋教室に参加していただき、小学生等と交流する機会**を持ちました。結果としては、小学生が強くてびっくり！負けるからもう行きたくないなあという感想だったそうです。そういったご本人の思いも学びになりました。

団塊の世代の方（特に男性）が活躍できる場を！

来年度、**マッチングイベント**が出来るよう計画…。**団塊の世代の皆さんの就労や地域参加ニーズ把握は重要。**

高齢者を雇用したい企業や商店と、働きたい高齢者の**マッチングイベント**を開催する

ニーズ把握のため来年度アンケート実施？

話し合い終了後、他のグループの参加者から、**同様の趣旨で実施したアンケートがあること**を教えてくださいました。既に実施しているアンケートを参照するのもしもつかもありません。

介護保険・民間事業者の専門的知識を市民に伝える仕組みを！

民間事業者や介護保険サービス事業者さんが講師となる講座一覧の作成について、意見交換。地域包括支援センターが内部検討し、しるい高齢者みまもりネット協力者に打診してみることに。

講座のほか、事業所内に地域交流スペースを作ってPRするなど、**本来業務+αで地域貢献していただくと嬉しいなあ**という声も。

駅前センターや市民活動推進センターに「お助け掲示板」みたいなものを作り、元気な方が継続的に支援。

話が発展。**高齢者の方が、SOSを出したいときに、誰にどう出したらよいか分かるよう、高齢者に見やすい表現で広報等に出したらどうか**、という意見になりました。

担当/鈴木

C 高齢者・独居者支援

（ゴミ出しや買い物・見守りなどの支援）

高齢者が買い物支援サービスを必要としているかどうか調査してみようということになりました。

- 買い物に不便を感じている方が多いと思われるエレベーター無し5階建ての「**堀込2-4自治会**」、戸建てで駅から遠い「**南山2丁目自治会**」が調査地区の候補にあがりました。
- 調査方法については、郵送、又は対面調査の案がでました。対面式にした場合、民生委員さんに協力してもらえるのかなど、実施に向けて検討していく必要があります。
- 次回のふれあい会議までに、アンケートのたたき台を事務局が作成することになりました。

買い物支援サービスの具体化に向けて、話し合いをすすめました。

担い手の候補は？

- ・ NPO 法人コラボしるい
- ・ シルバー人材
- ・ まごころサービス（白井市社会福祉協議会）などの候補がでました。

高齢者の買い物状況は？

駅前のスーパーを見に行ったところ、夕方だったこともあり高齢者の姿をほとんど見かけなかったそうです。

買い物支援サービスのニーズを把握することは大切ですね。調査実施に向けて話し合いをすすめていきましょう。

担当/加藤

地域の見守り・支え合いを考える講話&グループワークを実施

小学校区単位という、高齢者の暮らしに身近な範囲で、関係者が顔を合わせ、見守りや支え合いについて考える講話&グループワークを12月3日に開催しました。

皆さんに見守りや支え合いを考えていただくにあたり、「ちょうじゅうろうさん」と「たかさん」というご夫婦の物語を紹介。「二人には、子どもがなく、夫婦助け合って暮らしてきたが、たかさんが認知症になり、ちょうじゅうろうさんも高齢で足が悪くなってきた。でも、二人は住み慣れた家で暮らしていきたいという願いを持っている」という2人です。ちょうじゅうろうさんとたかさんという夫婦は架空の存在ですが、これまで、白井市の高齢者相談で把握した、認知症に関するいくつかのエピソードを盛り込みました。

当日は、民間事業者・医療機関・介護保険サービス事業者・自治会や民生委員・地区社会福祉協議会や福祉団体・警察署や消防署、など、様々な立場の方がひとつのグループになって、夫婦の現状を整理し、今後の支援を検討しました。また、参加者の皆さんが住み、働いている、白井市の各小学校区の地域の特徴や課題などを話し合いました。

特定非営利法人日本地域福祉研究所の高橋主任研究員が講師としていらしてくださったのですが、白井市のように、多種多様な団体や機関が一堂に会して話し合う、というのは珍しいのだそうです。南山中学校ふれあい会議も、そういった意味では、一歩進んだ集まりなのかもしれません。

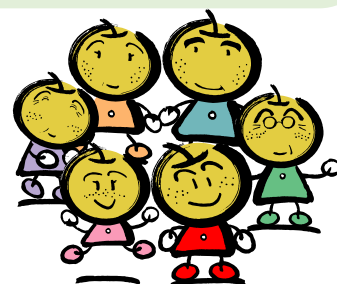


講話&グループワークの意見交換の結果は、別途レポートを作成しています（白井市ホームページに掲載予定です）。

3. ふれあい会議 今後の日程

次回は、**1月9日（金）午後2時～**です。

※12月ご欠席のみなさまも、是非ご参加ください♪



【 今後の開催予定 】 毎月第2金曜日 午後2時 ~ 午後4時ごろ

2月13日 ※ラスト1回です※

※ **場所は、毎回 白井駅前センター** です。

「高齢者の見守り」ネットワーク担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 鈴木・今井

電話 047-497-3474 FAX047-498-4832 メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp

地域福祉計画（地域ぐるみネットワーク）担当

白井市 健康福祉部 社会福祉課 厚生班 電話 047-497-3482